地域整備部

道路や河川・海岸、港湾等の社会資本の整備・老朽化対策・防災減災対策を行い、安全で安心な地域づくりを推進しています。

村上地域振興局長
兼地域整備部長　新保　直人

1　安全に安心して暮らせる、暮らしやすい新潟

県民生活の安全や利便性の確保のための維持管理や維持補修、県民のくらしと命を守る社会資本の整備や老朽化対策、防災・減災対策を計画的・効率的に行っていきます。

■県民の命と暮らしを守る一段加速した防災･減災対策の推進

＜災害から県民の命と暮らしを守るハード対策の強化＞

○　河川改修事業
県民の命と暮らしを守るため、河道拡幅や護岸整備・補修、堤防補強等の河川工事を行っています。

関口沢内川（関口）　護岸着手前

関口沢内川（関口）　護岸工事完了

また、洪水を安全に流せるよう、流水の阻害となる土砂の撤去、立木の伐採を行っています。

【治水・港湾課】

長津川 河道掘削前

長津川　河道掘削後

○　砂防事業

土石流から集落を守る砂防ダム、急傾斜地において落石やがけ崩れ等から人家を守る柵やのり面保護施設等のハード整備を進めています。また、令和４年８月豪雨により砂防ダムにたまった土砂・流木の撤去や堰堤嵩上げ等の事業を実施しています。

【治水・港湾課】

寝屋集落と背後の土砂崩壊防止柵

既設砂防堰堤の嵩上げ（小岩内大沢川）

○　海岸侵食対策

日本海特有の冬期風浪により砂浜の侵食が進んでいる海岸が多数あります。

侵食に伴い越波による浸水や交通障害等の被害が発生する恐れがあることから、離岸堤等を整備し、越波被害の軽減及び砂浜の回復を図っています。

【治水・港湾課】

寒川地区海岸の侵食対策

風浪による越波状況

○　ダムの堰堤改良

三面川の上流には、三面ダムと奥三面ダムの二つの県営ダムがあり、それぞれのダムの機能を十分に発揮できるよう運営管理しています。

これらは三面川の洪水調節、流水の正常な機能の維持、並びに発電を目的とした多目的ダムです。三面川流域の水量をコントロールし、流域住民の生命と財産を守っています。

また、完成から７０年以上を経過した三面ダムでは、ダムメンテナンス事業により老朽化したダム管理施設の修繕・更新・改良を行うことで、適切なメンテナンスサイクルを構築し、ダム管理施設の健全度を高めています。

【ダム管理課】

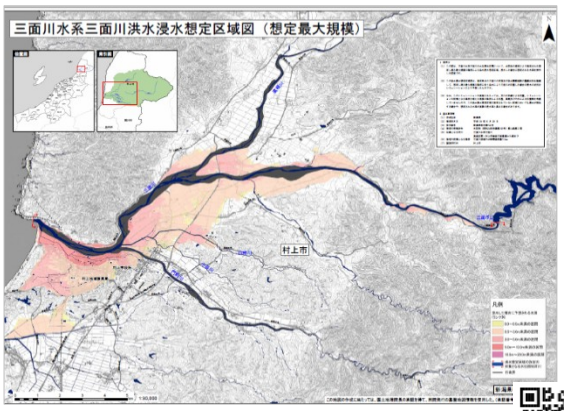
三面ダム

奥三面ダム

＜確実な避難行動に繋がる住民目線のソフト対策の強化＞

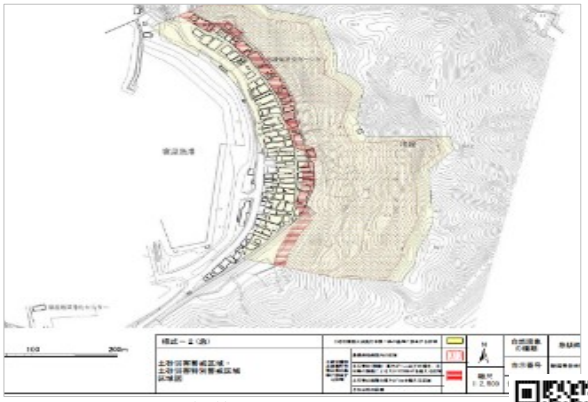
近年、想定以上の豪雨による土砂・洪水被害から住民の方々を守る施策に基づき、堤防整備などのハード対策とともに、避難行動の助けとなるよう、浸水想定区域図作成や土砂災害の危険を知らせる土砂災害警戒情報システムなどのソフト対策を充実させるなど、市村と共に県民の生命と財産を守るソフト対策の強化を進めています。

【計画調整担当】



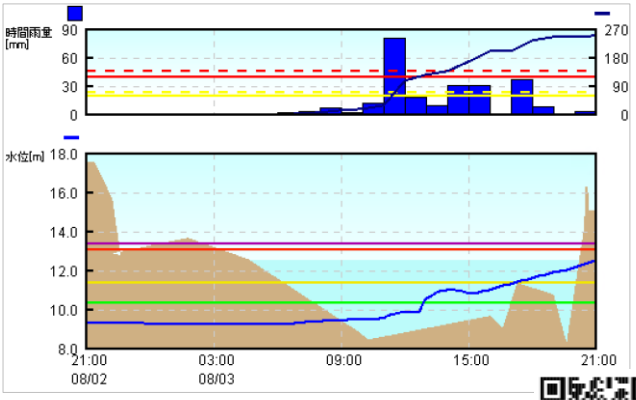
河川の浸水想定区域図の策定・公表

新潟県内の洪水浸水想定区域図



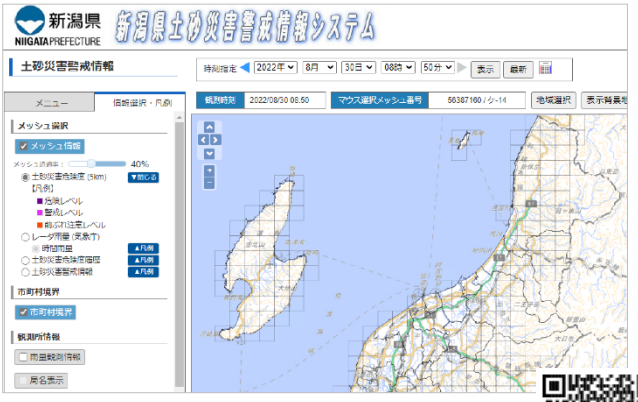
土砂災害警戒区域図の策定・公表

新潟県土砂災害警戒区域



水位計によるリアルタイム河川水位の発信

新潟県河川防災情報システム



土砂災害警戒情報システムによる危険度発信

新潟県土砂災害警戒情報システム

＜「マイ・タイムライン教室」の開催＞

「マイ・タイムライン」とは、洪水や土砂災害のような進行型災害が発生した際に、「いつ」、「何をするか」を整理した防災計画のことで、豪雨時に住民一人一人がとる防災行動を時系列に整理し、自ら考え命を守る避難行動のための一助とするものです。

地域整備部では、近年の激甚化・頻発化する豪雨災害に対し、学校教育を通じて家庭や地域にマイ・タイムラインを普及し主体的な避難行動により人命を守るため、村上中等教育学校で、「親子マイ・タイムライン教室」を令和３年１０月２４日に開催しております。

【計画調整担当、治水・港湾課】

開会式（マイ・タイムライン説明）

ハザードマップから危険性を確認

グループ発表

＜災害発生時の二次災害防止と災害からの迅速な復旧＞

令和元年７月の豪雨で発生した災害では、沢からの土砂により県道が埋没するなどし、全面通行止めとなりましたが、災害復旧事業により、早期の通行止め解消を図りました。現在は、令和４年８月豪雨災害箇所の復旧を進めています。

【維持管理課】

一般県道鶴岡村上線（岩崩地内）の被災（令和元年７月）

復旧工事完了

令和４年８月豪雨により、村上市坂町地区周辺では荒川支川の烏川や春木山大沢川が溢水し、大規模な浸水被害が発生しました。河川の氾濫による浸水被害の軽減を図るため、烏川及び春木山大沢川において河道の拡幅や市街地の周りを二線堤・輪中堤で整備を行う、緊急的な浸水対策を実施しています。

【災害復旧課】

坂町地区の浸水対策（春木山大沢川ほか）

春木山大沢川の河道拡幅工事の状況

■人と自然が共生する暮らし

＜水環境の保全と緑あふれる快適な環境づくり＞

県が管理する道路などの社会資本施設は数多くあり、管理に膨大な予算が必要です。そのため、県では一部の管理施設の維持管理を地域住民の方々と協同で行っています。

協力団体と協定を結び、河川敷や道路の草刈り、歩道除雪などを実施しています。

【総務課、計画調整担当】

国道290号（桃川峠クリーンアップ作戦）
令和8年4月26日（日）実施

■インフラ施設及び公共施設の安全の確保

＜インフラ施設等の PDCA サイクルによる計画的、効率的な維持管理等＞

橋梁やトンネルといった道路施設の法定点検を行い、その結果に基づき補修優先度を決定し、補修工事を実施しています。また、道路や岸壁の陥没事故を未然に防止するため、路面下空洞探査車などを用いて路面下状況の調査を行っています。

点検や調査、補修を実施することで、道路施設や港湾施設等を常時良好な状態に保ち、利用者が安全・安心に利用できるよう維持管理しています。

【維持管理課、治水・港湾課】

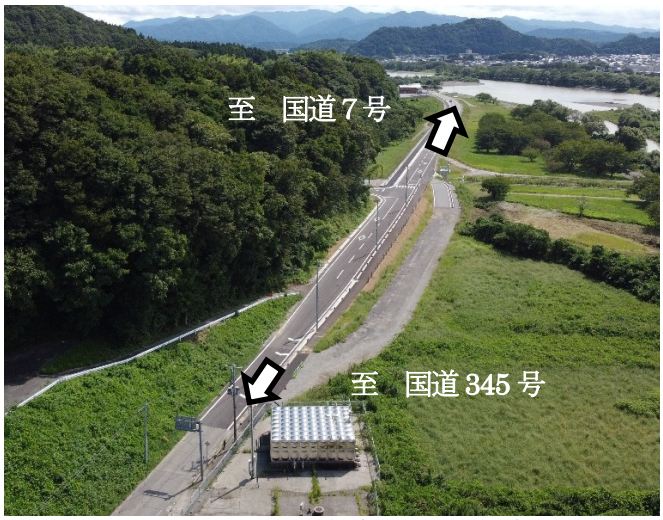
路面下空洞調査（県道部レーダー探査）

■安全で快適な日常生活を実現する社会基盤の整備

＜県民の暮らしと命を守る道路整備＞

通勤・通学、物流の円滑化、交通事故の防止など、地域住民の日常生活の安全性と利便性の向上や災害に強い交通ネットワークの構築を図るため、道路改良や歩道整備を行っています。

【計画調整担当、道路課】



一般県道村上朝日線（羽下ケ渕拡幅）

一般県道大栗田越後下関停車場線（下関工区）

2　地域経済が元気で活力のある新潟

■魅力的な生活環境の創出に向けたまちづくり

＜住民が誇れる地域の個性あるまちづくり＞

村上市は、村上大祭を代表とする伝統文化や、武家屋敷、町家といった歴史的建造物により風情ある町並みを残しています。

村上市では、平成２８年度に「村上市歴史的風致維持向上計画」を策定し、町家の保存、修景などを進めています。県ではこの計画に基づき、県道の整備を進めています。

【計画調整担当、道路課】

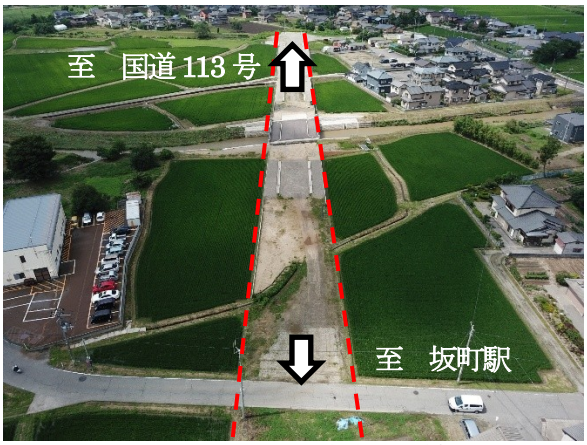
一般県道村上停車場線 修景された町家

＜安全に安心して暮らせるまちづくり＞

市街地において、交通機能だけではなく、空間機能や市街地形成機能等のまちづくりを意識しながら道路整備を行っています。

基本的には市町村が事業を行うものとされていますが、大規模な事業等は市町村からの要請を受けて、県でも事業を行っています。

【道路課】



３・４・22　東大通り線

■雪とともに暮らす地域づくり

＜雪によるハンディキャップのない地域づくり＞

吹雪が発生すると、見通しが悪くなり、交通事故、道路閉鎖、渋滞などの原因となります。このような視程障害による問題を防止するため、地吹雪防止柵を設置し、安全な通行の確保に努めています。

【維持管理課】

地吹雪防止柵による視距の確保（村上市山屋）

＜冬期における道路交通や住民生活の安全･安心の確保＞

冬の降雪期における道路交通の確保は、地域住民の日常生活や社会活動維持のために極めて重要です。このため、積雪時は昼夜を問わず除雪作業にあたっています。

【維持管理課】

※令和７年度時点

除雪延長	車道除雪	２６６ｋｍ	除雪機械	４０台
	歩道除雪	５７ｋｍ		

早朝の県道除雪作業

3　港湾整備による物流・人流の促進

岩船港は、県北唯一の地方港湾で、県北部における物流拠点・広域観光レクリエーションの結節点としての役割を担っている商業港です。また、離島粟島との間にフェリー1 隻が就航し、粟島浦村住民の生活を支えるとともに観光の拠点としても大きな役割を果たしています。

平成 12 年５月には、「特定地域振興重要港湾」に選定されたことから、地域の人々とともに「観光」をテーマにした地域懇談会、ワーキンググループなどを開催して「岩船港振興ビジョン」を策定しました。現在、新潟県・村上市・民間が協働して岩船港を中心に、瀬波温泉や粟島など地域の歴史や自然を生かした観光振興に役立つ施設の整備を進めています。

また、平成 29 年２月には、「みなとオアシス越後岩船」の登録を行いました。引き続き、みなとオアシス登録を活用した更なる岩船港振興策を展開し、交流人口の拡大を目指します。

港湾整備にあたっては、河口港であることから、航路泊地の浚渫及び防砂堤の整備を持続的に行っています。

また、令和７年度には粟島汽船が使用している３号岸壁（桟橋）上部工の更新工事を行いました。

【治水・港湾課】

観光振興の進む岩船港

フェリー ニューあわしま
（平成 31 年４月就航）

4　漁港施設の改良等による漁業生産性の維持・向上

県北の豊かな自然を将来にわたって維持できるよう、水産業の振興と育成を図る漁港の整備を進めています。

【治水・港湾課】

＜寝屋漁港＞

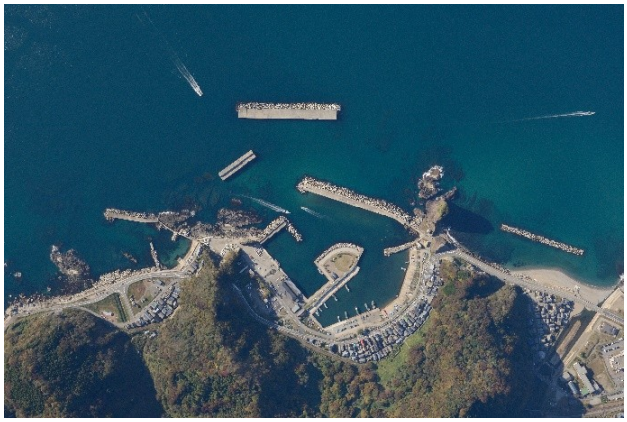
寝屋漁港は、地域の拠点漁港として底引き網漁業、定置網漁業などを行っており、一部のズワイガニやヒラメはブランド化に取り組んでいます。ヒラメ、カレイ類、岩ガキ等の多様な水産物を漁獲陸揚げしています。

また、県北の漁船漁業、流通及び栽培漁業の拠点として位置づけられており、防波堤の補修などの漁港機能を保全するための事業を行いました。

＜粟島漁港＞

粟島漁港は、大型定置網を中心に漁船漁業が営まれ、マダイ・マダラ・ブリ類など多様な水産物が漁獲されています。

また、本土（岩船港）との定期航路の発着港として重要な役割を果たしており、防波堤や臨港道路の補修などの漁港機能を保全するための事業が行なっています。



県内第２位の陸揚量を誇る寝屋漁港

島の玄関口となっている粟島漁港

5　地域を支える建設産業の振興

■建設産業への理解向上に向けた情報発信

＜土木出張 PR＞

地域を支え暮らしを守る建設業の重要性と魅力を理解してもらうとともに、将来の建設産業の担い手確保を目的に、地域整備部と建設業協会、建設コンサルタンツ協会、測量設計業協会と共同で中学生を対象とした土木出張 PR（講義や実習）を実施しています。

【計画調整担当】

朝日中学校にて開催（令和５年５月２２日）

＜建設業界！魅力発見ツアー＞

建設業界の今の姿を PR し、ものづくりの魅力を発信するため、村上公共職業安定所や羽越河川国道事務所、村上市、地域整備部で主催し、また、新潟県建設業協会村上支部や村上市建設業協会、関川村建設業協会からの協力により、高校生を対象とした現場見学会と、建設業に就職した先輩からの実体験談を聞く機会を設けています。

【計画調整担当】

現場見学会（令和６年１０月１１日）

＜いいねっか村上＞

地域活性化イベント「いいねっか村上２０２５」（主催：村上商工会議所青年部）に、地域整備部と新潟県建設業協会村上支部合同で参加しました。

１ブースを借りて、建設車両やパトロール車の体験、建設機械のおもちゃ操縦会を開催し、参加者には参加賞の景品を渡す等、建設業の PR を行いました。

【計画調整担当】

ブースの状況

「パトロール車」の体験

＜おおいしダム湖畔まつり＞

「おおいしダム湖畔まつり」に実行委員として参加し、令和４年８月豪雨における被害状況や水害・土砂災害発生時の避難に関する啓発について PR を行いました。

【計画調整担当】

ブースの状況

会場の様子

＜ダムカード・港カード＞

三面ダム、奥三面ダムを、より知っていただくため、ダムカードを作成し配布しています。

また、岩船港を紹介する「港カード」を作成し、配布しています。

【配布場所】

三面ダム　「ダムカード」　三面ダム管理所

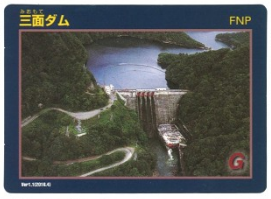
奥三面ダム「ダムカード」　奥三面ダム管理所

※　奥三面ダムまでの道路が通行止めのため、現在、奥三面「ダムカード」は配布していません。なお、当面の間、道路の通行止め解除の見込みはありません。

岩船港　　「港カード」　　村上地域振興局 地域整備部（２階）

【ダム管理課、治水・港湾課】

「ダムカード」



「港カード」